

金の星子ども劇場

2

●多田 徹

カレドニア号出帆す



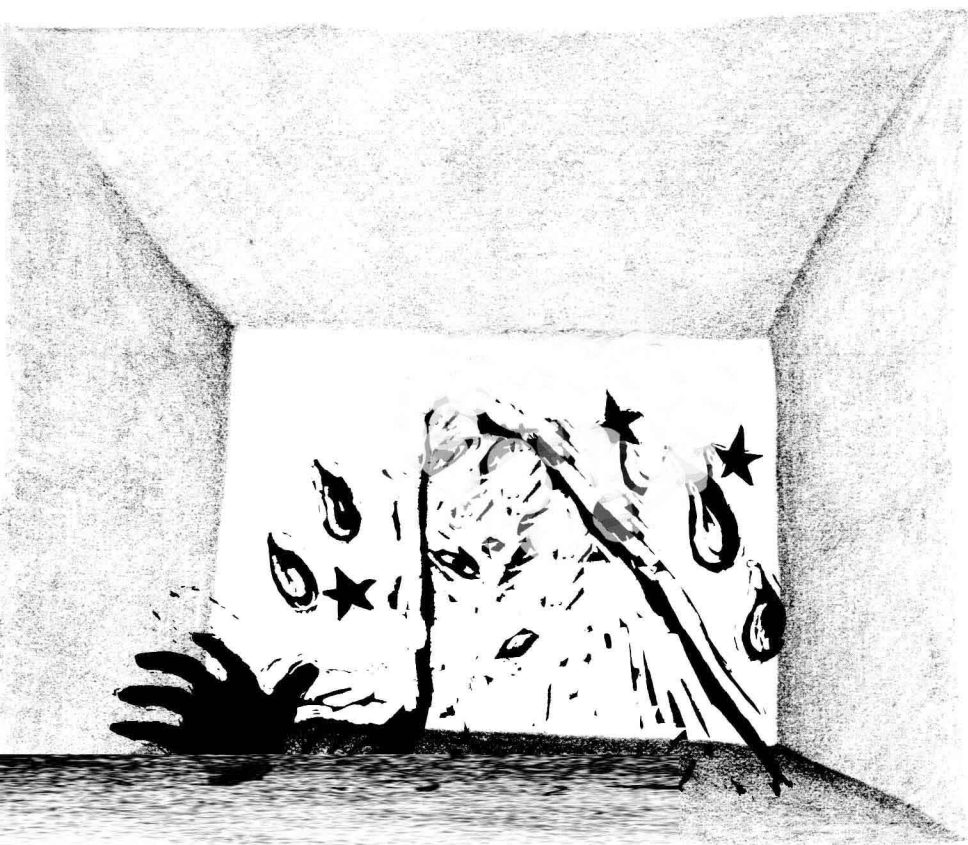
金の星子ども劇場

2

カレドニア号出帆す

多田 徹

しゅっ ぱ ん



カレドニア号出帆す

金の星子ども劇場 2

1976年 6 月 / 発行

著者 / 多田 徹 1976©

発行者 / 斎藤佐次郎

発行所 / 株式会社 金の星社

〒111 東京都台東区小島 1 丁目 4 - 3
電話 / 東京 03—861—1506 (代表)
振替 / 東京 0—64678

印刷・製本 / 株式会社 ケイ エム エス

乱丁落丁本はおとりかえ致しますのでお求めの書店または本社へお申し出願います。

912 多田 徹

カレドニア号出帆す

金の星社 1976

205 P 22cm (金の星子ども劇場 2)

基本カード記載例

8374—047021—1406

●上演する際は作者または小社編集部に連絡下さい●

カレドニア号出帆す

多田
徹

金の
星社



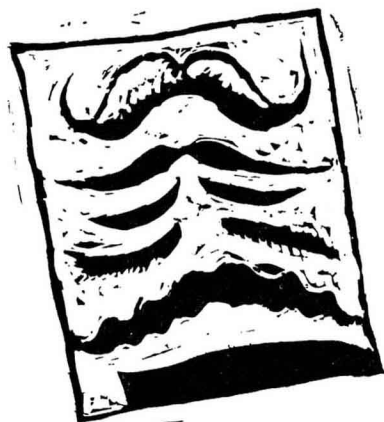
カレドニア号出帆^{しゅっぱん}す

もくじ

花がたな

97

5



陽気なハンス

127

人と作品について／さねとう・あきら

186

演出のためのノート

199

■ そうてい・さし絵／かみや しん

■ 装置図／石倉欣二

■ 作者紹介

多田 徹
ただ とおる

一九二七年、東京に生まれる。早稲田大学中退。子ども会・児童図書館運動をへて、劇団「風の子」を結成。『カレドニア号出帆』でNHK脚本賞、『ボタツ子行進曲』で斎田喬戯曲賞など受賞。現在、日本児童演劇劇団協議会代表幹事など兼任。

現住所 ― 東京都世田谷区北沢四―二―一九

●二幕六場

カレドニア号出帆す

上演時間・二時間五分



登場人物

マイケル（西部生まれのワンパク小僧）

アレキサンダー（友だちの黒人）

パトリシア（マイケルの同級生）

グレーグ夫人（マイケルの母・未亡人）

オーエンス船長（アレキサンダーの養父・倉庫番）

判事チャールトン（パトリシアの父・町の有力者）

ウィリアムス（判事チャールトンの甥・青年）

保安官ビル

黒人ジム（波止場の人足）

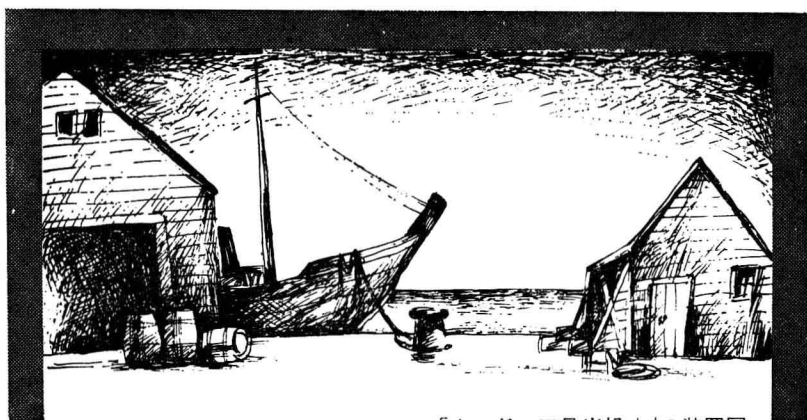
黒人サム（波止場の人足）

黒人ジョニー（波止場の人足）

ク・クラツクス団員 数名

時と所

——南北戦争も一昔となつたころのアメリ
南部の、とある河口に位する、小さな港町と、
河口近くの小さな島を中心に——



「カレドニア号出帆す」の装置図

●第一幕

第一場

波止場付近。

暗い歌声。

年老いた河よ

静かな流れよ

綿つみし昔去りて

いまはただ船を待つ

救いの国へ

つれゆく船を

下手には大きな倉庫、上手には小さな小屋がのぞいている。

あたりには綱やこわれた箱などがごろがっているだけ。

正面、倉庫の奥の方にはつながればなしのボロ帆船「カレドニア」の上部が見える。歌声の主は、綱や箱にぼんやり腰をおろして沖を見ている数名の黒人たちである。

やがて、買物の包みをかかえてオーエンスがもどってくる。

オーエンスは杖をついている。

オーエンス

ジム、まだいるのか。

黒人ジム

あ、船長さん、帰ってもしょうがないんでね。

オーエンス

……もう三日になるな、こんなに船が入らないこともめずらしいが……他の連中はどうしてるんだね。

黒人サム

（おどけて）トミーは、四番目の赤んぼうが生まれるってんで大さわぎだし、ブラウンじいさんは、一昨日、あそこで打った腰がはれて、熱をだしてウンウンいってるよ。

黒人ジョニー

でもたいいていのやつは今朝早く河上の方に出かけて行ったよ。河上じゃ、また、綿畑がさかんになってよ、どんな方が綿つみの人手をさがしてるってうわさだ

ね。

サ
ム

ばかなやつらさ、おいらたちを牛や馬みてえに売ったり買ったりしてた、だんなたちとところにまた帰るなんて！

ジョニー

だけどおまえ、売られたって買われたって、こんな心配しねえでもだんなたちが食べさせてくれたじゃねえか、昔は。

ジ
ム

情けねえことをいうな、ジョニー。いくらすきつ腹だったって、もう奴隷じゃねえんだよ。どんなチツトだって、かせいだけだけは、自分のものになるんだぜ。

サ
ム

ああ、ちくしょう！ 船さえ入ればよう！

オーエンス

まったくな、しな物は倉庫に入りきらぬほどたまっているというのに……ジム、帰りにわしんとこに寄ってくれ、トミーの赤んぼうに何か下着の古いのでもさが

してやるから。

ジ
ム

へえ、船長さん。

黒人たち、またうたい始める。そこへグレーグ夫人、急ぎ足できて、小屋に入りかけるオーエンスに声をかける。

夫
人

あ、もし、ちよっと、オーエンスさん。

オーエンス

これはグレーグのおくさん。

夫 あ 人 じん

うちのマイケルがこちらには……。 (と、さがすような身振り)

オーエンス

いや、今日はまだ見かけませんが……。どうかしましたかな？

夫 人

いいえ、ただ、まだ帰ってまいらないものですから、いつもならもうとくに学校がひけてる時間ですのに……。仕立てものに夢中になってしまっていて、ひよい

と気がついたら……。それでまた自宅の……。

オーエンス

そういえば、うちの大王さまもどこへ行きましたかな。おい、ジム、アレキサン

ダーの姿を見かけなかったか？

ジ ム

さあてね、さっきまでそこらへんで弓かなんか作っていたようでしたがね。

オーエンス

ふむ、どこへ消えうせたかな……。 (と、足をひきずってさがしに行こうとする)

夫 人

いいえ、オーエンスさん、もうよろしいんです、本当に。あたしったら、急に心

配になってしまつて……。すみません。あの子のことになるとどうして、こう……。

オーエンス

ご主人の残された一粒種つぶねですもの、あたりまえでしょう、おくさん。

夫 人

亡なくなった主人は西部が好きでしたけど、あちらでは充分な教育じゅうふんがしてやれない

と思つて、この町に帰つて来たんですよ。なのにあの子ったら……。勉強をそっち

のけにしてあそんでばかりいて。

オーエンス

(笑って) 心配なさるな、マイケルは立派な西部ッ子だ。あなたの苦勞がむだになるようなことはありませんよ、いまにわかる。わしが保証してもいい。

夫 人

ありがとうございます。オーエンスさん、女親には男の子の氣持ちがよくわからないのかも知れませんわ。帰ってみましょう。もう帰っていて「おながすいた」ってわめいているかも知れませんか。(と、行きかける)

そこへ、パトリシアがやってくる。

パトリシア

あら、おばさん！ここにいらしたの？いま、おばさんちに行ってみたところなのよ。

夫 人

(ハッとして) まあ、どうして、パトリシアさん。

パトリシア

どうしてって、たいへんなのよ、マイケルが！

夫 人

ええッ、マイケルが？

パトリシア

先生にしかられて、黒板に百回も同じことばを書かされているのよ。「人民の、人民による、人民のための政治」って。

夫 人

何をしでかしたの、あの子は？

パトリシア

授業中にけんかしたのよ。

夫 人

だれと？

パトリシア

あたしとよ。だってマイケルったら、先生が独立宣言はだれが書いたか聞いてるのに、ジョージ・ワシントンだなんて答えるんですもの。だからあたしが、「トーマス・ジェファークソンよ」って教えてあげたら「よけいなおせっかいだ」っていうのよ。どう？ おばさん！ このごろのマイケルは素直じゃないわ！ だから「女の子にそんな口のきき方をするもんじゃない」って注意してあげたら、いきなりこの髪をひっぱって「ご親切にありがとう」ですって。毛がぬけちゃうかと思っただけよ！

夫 人

ごめんなさいね、パトリシア。あとでよくいつてきかせますからね。オーエンスさん、あたし、ちよつと行ってみます。

オーエンス

学校へですか、あまり気にせんほうがいいですよ、そんなこと。

夫人、小走りに去る。

パトリシア

あら、「そんなこと」ですって、おじさん。どうして「そんなこと」なの？ 女



の子を尊敬^{そんげい}しない男の子なんて紳士^{しんし}じゃないわ。

わかった、わかった。わしからも良く^よいってきかせるよ。女の子をからかうとあとがうるさいってな。(笑う)

パトリシア

笑いごとじゃないわ！ あたしほんとうにマイケルのこと心配してるのよ。あの子ったら、いつまでたってもいい子にならないんですもの。

オーエンス

ホホウ、いい子にね。

パトリシア

あたし、どうしてか、そのわけを知ってるわ。(と、おもわせぶりに顔をしかめ)アレキサンダーとあそぶからよ！

オーエンス

なんだって？

パトリシア

黒んぼうを友^{とも}だちにしている子なんて、マイケルだけだわ。ばかな黒んぼうとあそんでばかりいるから、マイケルまでばかになっちゃうのよ。そうだわ。

オーエンス

アレキサンダーはばかではないよ、あの子の父のボボンゴも立派^{りっぱ}な男だった。わしはボボンゴのおかげで、この足を折^おっただけで助^{たす}かったんだ。お嬢^{じょう}さん、人間は色の白い黒いだけでは決まらんよ。

パトリシア

でも奴隸^{どれい}は奴隸だわ！ いくら世の中が変わったって、「奴隸は奴隸の頭しかもっていないから奴隸だ」っておとうさんがいってたわ。